

「 情報集めて 早めにひなん 」

茨城県 つくばみらい市立陽光台小学校 4年 ^{あいざわ}会沢 さくら

「うわうわでてきた。あとちょっと時間おそかったらわたしたちが流されてた…」

これは、8月15日の福岡県そえだ町の車を運転していた人がさつえいしたえいぞうに入っていた声です。道路を大量の茶色い土砂が左から右へ木といっしょにゆっくりと流れていくのをテレビで見ました。

今年の8月は、全国に大雨がふり洪水や土砂災害のニュースがたくさん目にとびこんできました。なかには、土砂にのみこまれて行方が分からなくなった人たちもいます。きゆう助活動をしている自えいたいの人やひなんしている人、いろいろな人がいました。にげおくれた人をボートで助けている自えいたいの人もありました。みんな1人1人がんばっているなと思いました。それでも、けがをした人やなくなる人もいました。

わたしは、土砂災害についてこれまでしんけんに考えたことなど1度もありませんでした。そこでわたしは、これから自分が土砂災害にあわないために、自分にできることが何か調べようと思いました。

内閣府のチラシを見ると、1～5のひなんするタイミングが書いてありました。1と2は大雨・洪水・高潮の注意報です。この注意報は、気象庁が出しています。3と4は、ひなん指示・ひなんじゅんびです。5は、災害発生の情報です。3～5は市町村が指示します。他にも「キキクル」という気象庁のホームページがあります。土砂災害や大雨、かみなりなどの危機的なじょうきょうがどこでおこっているかをみることができます。

次に「政府広報オンライン」で調べました。そこには、土砂災害の前兆が書いてありました。前兆は、ひびわれや山鳴り、わき水が止まったりにごったり、またくさった土のにおいなども土砂災害の前兆です。この前に調べたキキクル以外にも自分の目や耳、鼻で感じとることも大切です。

つくばみらい市洪水・土砂災害ハザードマップで調べてみると、わたしの地いきは土砂災害があまりないことが分かりました。わたしが通っている陽光台小学校は、ひなん所になっていました。川に近い場所は、土砂災害やしん水が多くなっていました。

これからわたしは、どんな場所に行っても大雨がふったときに、次のようなことに気をつけようと思います。まず、情報を集めます。たとえば、防災無線やキキクル、テレビやハザードマップです。それだけではなく、目や耳、鼻で感じとることも大切にします。そして3の高れい者等ひなんのときにひなんします。ひがいが大きくなる前に、早めにひなんしようと思います。

土砂災害について調べてきて、わたしは、このことを遠くはなれた兄と姉、こども園に通う弟にも伝えたくまりました。どこにいても情報を集めて避難することが大切なのだ。